

韓国文化教育における文化項目選定と授業の事例

*The Choice of Topics on Korean Culture
and A Case Study of Korean Cultural Studies Class*

全 美順*

目次

- はじめに
- 1. 韓国語教育における文化教育の先行研究
 - (1) 文化教育の目標
 - (2) 文化教育の内容
 - (3) 文化教育の方法
- 2. 韓国語テキストの分析
 - (1) 韓国で刊行された韓国語テキストの文化項目分析
 - (2) 日本で刊行された韓国語テキストの文化項目分析
- 3. 文化教育に対する学習者の要求調査分析
- 4. 望ましい韓国文化教育
 - (1) 文化項目選定
 - (2) 文化教育授業
- おわりに

はじめに

近年になって言語教育における文化教育の機能と役割が次第に明らかになっている。それは言語能力の伸長は、その言語が属した社会文化的な内容をすべて理解する時、初めて可能なためである。単に語彙や文法だけを勉強するのはさほど意味がない。言葉を学び、言葉に反映している韓国文化を正しく認識してこそ、高度な言語学習が遂行できると言えるだろう。

では、どのような文化内容を中心に教えるべきであろうか。まず、文化の構成要素を、信念、価値観、制度、慣習、習慣等の「観念文化」と、文学、民族、美術、音楽、加工品、衣服、食べ物等の「物質文化」と大きく二つに分ける。韓国語教育の現場でこのような韓国文化に関した内容を取り扱う必要がある。また、それは韓国語の学習に対する動機を誘発し、興味を与える文化項目でなければならないだろう¹。

¹ 本稿における「文化教育」の範囲は、韓国語を学習するため必要な教材の内容を意味する。

*JEON, Mi soon [情報文化学科]

現在日本で韓国語を習っている学習者たちの大多数は、韓国語のみならず韓国を理解することを目的としている。韓国を理解できる手段がすなわち文化を通じた教育であり、これらの文化項目を正しく伝える時、学習の効果が期待できるだろう。このように文化教育のための内容選定は何よりも重要だと言える。したがって、本稿ではまず韓国語テキストに現れている文化項目を分析し、続いて日本人の学習者に対する文化学習の要求事項を調査する。そして、これらを根拠として韓国文化項目を選定し、教育現場での文化教育の方法を提示する。

1. 韓国語教育における文化教育の先行研究

(1) 文化教育の目標

ベヒョンスク（2002）は、韓国語教育における文化教育の目標は文化的な熟達度と言語的な熟達度を同時に追求するべきだとした。ソンギチョル（2001）は、文化教育の目標を、韓国語学習上の文化的な障害要因を除去し、韓国語学習の効率を高め、韓国語の能力伸張を最大化することにおいている。ナヘミン・ウイネ（2001）は、本当の文化教育の目標は言語の実用的次元以外にも理念的次元、芸術的次元での認識を基にして設定されるべきだとした。

木村宗男（1982）は、外国語（日本語）教育の最終目的とは、文化・社会・価値観を異にする者同士が外国語を通じて相互の理解を深め、友好親善を促進し、学術・文化・社会の発展に貢献することだと述べている。

シール（1998）は文化教育の目標を7種類に具体化し、言語文化または一般生活文化に比重を置いた。Lafayette（1998）は、学習者中心の文化教育の目標を地理的な記念物、歴史的事件、社会制度、芸術的記念物、日常文化パターン、ジェスチャー、価値判断認識説明等の12種類で提示している。

チョハンノク（2002）は、他の文化に対する知的好奇心を充足させ、必要な場合は社会的・経済的行為の遂行に役立つことを目標にしている。パクヨンスン（2002）は文化教育の目標を6項目として提示している。

以上のような論議を基にし、韓国語と韓国文化を同時に教育するための学習目標を次のように提示しようと思う。

- ① 韓国の伝統文化、及び実用的な文化を理解できるようにする。
- ② 日本と違う韓国の独特な文化を理解することによって、韓国語学習に対する動機を与え

る。

- ③ 日本と韓国の文化を比較し、客観的に分析・表現できるようにする。
- ④ 韓国文化に関する本文の内容で、文法・語彙・発音等の学習ができるようにする。
- ⑤ 最終的に韓国文化を理解することによって、韓国語能力の向上を最大化する。

(2) 文化教育の内容

キムジョンスク (1997) は文化教育の内容として、日常生活様式の文化要素教育、言語的要素教育、敬語法についての教育、韓国の政治、経済、歴史、地理学的な記念物、政治、経済的な要素についての教育、韓国を代表する文化と芸術についての教育等5種類の範囲を提示した。ナヘミン・ウイネ (2001) では、外国人学習者を教育するためのテキストに含まれる内容として、ある一定の要因よりも学習者の意見を反映し、それらの要求に応じ内容を盛り込んだものが最優先されるべきであるとした。カンヒョンハ (2002) は文化語彙分析によって衣食住と関連した生活文化、有無形の文化、日常生活と関連した生活語彙に分類した。

イソンヒ (1999) は説話を通じた文化教育、ウハンニョン (2000)、キムジヒョン (2001)、イソンヒ (2003) は文学を通じた韓国語教育を提示している。チョハンノク (2002) はハンゲルの創制語彙、基礎的な言語生活の規範、韓国人の衣食住、韓国の季節と天気、韓国人の思考方式について基礎的な理解、韓国人の趣味、余暇生活、買い物、学校生活と職場生活、韓国社会の礼儀、韓国の交通手段、宿泊施設利用、韓国の観光地等、初級課程学習者のための文化項目を選定した。パクヨンスン (2002) は文化教育の内容を、精神文化、言語文化、芸術文化、生活文化、制度文化、文化財、学問、産業技術の8種類に分類した。

イソンヒ (2003) は韓国語教育における文化教育の内容を、韓国の自然環境、歴史、生活文化、価値意識の理解等にわけて設定している。イソクジュ (2002) は韓国語の文化内容に関する目録を言語マナーと言語内容に分類して作成し、言語学習段階により3ランクに分けている。

しかし、このような文化内容では実用的な現代文化を示し、学習者たちの意欲を満足させるには物足りない。したがって、4章では既存の文化項目要素と学習者の要求事項を反映させることを通して、日本人の学習者たちに教育すべき文化項目を選定・提示する。

(3) 文化教育の方法

パクヨンスン（2002）は文化教育に対する方法として、学習者の持つ文化と比較・対照して発表する課題、文化要素が含まれた言語学習、小グループ活動、公演と展示・観覧などを提示している。

チョハンノク（1998）は、上級レベルの学習者のための文化教育方法として、討論会、アンケート調査、現場学習、文化語彙の教育、新聞の活用、映画・ドラマの学習などを提示した。チョハンノク（2000）は初級レベルの学習者のために文化教育を行う方法として、実物の写真・絵の提示、自国の文化と比較して話すこと、現場見学、観察などを紹介した。特に文化教育を実行する際、文化教育と言語教育が分離してはならず、具体的な実物の資料提示、教育対象の文化項目による教育方法の採択、伝統文化より実際の生活文化を中心に紹介することなどを述べた。

チョハンノク（2002）は文化の説明とともに、実生活の中で体験できる課題が必要だとした。あわせて、文化説明と同時に実生活で体験できる課題の提示が必要だとした。また、全ての文化教育方法論は、「前活動、活動、後活動」の過程中心に開発されるものとした。ハンサンミ（1999）は文化と言語の統合的な教育の方法として、参加観察、観察、洞察、面接などの意思疎通による研究方法を韓国語教育に適用した事例をあげた。

カンスンヘ（2002）のアンケート調査によると、韓国文化を理解するのに一番役に立つのは、韓国人との直接的な関係、教師の教育活動、文化体験の参加、韓国文化についての読書、テキストの順であった。しかし、日本で教育を受けている学習者たちに韓国人との直接的な関係を期待するのは難しい。したがって、他の方法を探さざるを得ない。これに対する解決策として韓国の文化を興味深く伝える文化テキストがまず必要である。さらに、体系的な教育方法も研究されるべきである。

そのため、4章ではこのような文化教育の方法として具体的な授業例を提示する。教育課程は導入、展開、練習、応用、まとめの5段階に分け、実物の説明、発表、作文、グループ活動等の方法を適用してみようと思う。

2. 韓国語テキストの分析

韓国語教育現場において文化教育がどのように実施されているのか。これを把握できる客

観的な方法はテキスト分析である。それぞれの教育機関で実施している文化教育に対する目標と内容が確認できる資料になるためである。したがって、韓国語教育機関で刊行された韓国語テキストにおける文化項目を次のように分析してみた。

(1) 韓国で刊行された韓国語テキストの文化項目分析

● 初級段階の韓国語テキストにおける文化項目

テキスト	文化項目の内容
高麗大学 「韓国語1、2」	挨拶、韓国の食べ物、韓国の天気、韓国の貨幣、韓国の薬局と病院、韓国人の週末活動、韓国の食物文化、韓国の生活マナー、市場とショッピング、韓国の都市
梨花女子大学 「話ができる韓国語Ⅰ」	韓国人の名前、数字4、韓国の昔の家、家族の呼び方、呼び方、主婦の余暇生活、ハングルと世宗、釜、トルと還暦、テッコンド、食事マナー、サービス電話番号案内、白衣民族、昔の天気予報、韓国人の趣味
慶熙大学 「韓国語初級1、2」	韓国の休日、韓国の主要電話番号、韓国の祝祭日、韓国人の行動言語、韓国の伝統的な美人、ソウルの博物館、サムルノリ、トル、ソウルの地下鉄、韓国の家族、挨拶マナー、誕生日祝いの歌、食事のマナー
鮮文大学 「韓国語初級1、2」	太極旗、愛国歌、アリラン、韓国の教育制度、韓国の気候、韓国人と数、百日/トル/還暦、韓国料理、生活中的のミシン、韓国の貨幣、呼び方、家族関係、十長生、テッコンド、礼儀正しい韓国生活、韓国の結婚、韓国地図と観光地、韓服、勤務時間、面白い擬声語
韓国語教育センター Integrated Korean; Beginning 1	挨拶、韓国人の名前、呼び方、名刺交換、友だち/親戚紹介、終止形、「私たち」の概念と使用、家族用語の拡大使用（友だち/親戚等）、太極旗、多様な挨拶、尊敬表現とパンマル、家の名称と表現方法、住宅の種類、カレンダー（陽暦と陰暦）、トルと還暦、ソウル、ソウルの地下鉄
西江大学 「西江韓国語1、2」	韓国人の名前、韓服、呼び方、韓国紹介、韓国の主要電話番号、韓国人の個人的な質問、韓国の地下鉄、新村と西江大、ソウル市の歴史文化観光、バス専用車道、休日と高速道路、韓国の市場、焼酎を楽しむ国、お金の支払い方、キムチ

● 中級段階の韓国語テキストにおける文化項目

高麗大学 「韓国語3、4」	引越越し、初めて会った人との対話、韓国の生活マナー、韓国の有名な人物、祝祭日と風俗（お正月）、韓国人が好きな職業、21世紀韓国人の生活、祝祭日と風俗（秋夕）、韓国の人物、韓国の地理、韓国の教育制度、韓国人の思考方式、（新世代と旧世代）、韓国の通信文化
梨花女子大学 「話ができる韓国語Ⅱ」	一杯飲みに行きましょう、ソウル、新羅時代の都慶州、土亭秘訣、韓国のチョンセ文化、12干、靚相、花ごぞ、民泊、緊急救助119、引越越しプレゼント
慶熙大学 「韓国語中級1、2」	韓国人のあだな、身体と関連する慣用語表現、経済とことわざ、節季と歳時の風俗、伝奇とことわざ、名詞形で終わる慣用語表現、言葉とことわざ、風水地理、ことわざの中の餅、冠婚葬祭、生活中的の慣用語表現、韓国の伝統舞踊、動物と関連することわざ、世宗大王、孝とことわざ
鮮文大学 「韓国語中級1、2」	アチャ山の伝説、あやとり、韓国の名字の歴史と種類、韓国人の通過儀礼、歴史人物記行、韓国伝統楽器、アリラン、搭と阿斯女、チェギ蹴り、韓国のタルチュム、冬至、機織りと織機、三年峠、南北の言葉、わらじと木の靴、韓国の歴史、美しい詩、石遊び、時調、新羅時代の建国神話

● 上級段階の韓国語テキストにおける文化項目

高麗大学 「韓国語5、6」	韓国の歴史（古朝鮮-朝鮮時代）、韓国の観光地、韓国の食べ物（地域別の食べ物文化とキムチ）、韓国語の特性、韓国の古典小説（沈清伝、興夫伝、春香伝）、韓国の映画、韓国の大衆音楽、韓国の遊び、韓国の衣服、韓国人の価値観、韓国人の思考方式、韓国の文化（結婚式、葬式）、韓国の世界文化遺産、韓国の伝統音楽、韓国の方言、韓国の神話、説話（金首露王、無影塔、コンジュイパッチュイ）、韓国の政治と大統領、韓国の文学と言語、1960年代以後の韓国経済、韓国の歴史的人物
梨花女子大学 「話ができる韓国語Ⅲ」	動物と関連した比喩的な表現、色彩言語、尊敬語、非文字言語、韓国人の挨拶習慣、味と関連した比喩的な表現、韓国人の思考と餅、外来語、行動言語、言葉と関連したことわざ、方言、流行語
鮮文大学 「韓国語高級1、2」	七夕伝説、寒食の伝説、食べ物、儀礼（1）、儀礼（2）、オンドルと暖房、12干支、数字3と韓国人の人生、韓国の踊り、民俗遊び、伝統家屋、祝祭日、信仰、韓服、祭礼

韓国から発行された多くの韓国語テキストに共通的な文化項目としては、韓国のお正月とお盆、名字と名前、歴史、ハングルについての説明、トル（一歳の誕生日）、韓国料理などがある。2～3箇所の機関が共通して設定した文化項目は、韓国人の名前、呼び方、家族、食事マナー、還暦、テッコンド、ソウルの地下鉄、主要電話番号等ごく一部である。各機関の韓国語のテキストからはどんな文化項目を扱うべきであるかについて、共通理解がまだ不十分だと言えるだろう。

(2) 日本で刊行された韓国語テキストの文化項目分析

「総合韓国語」（油谷幸利、南相璽）は計4冊で構成されている。テキスト中の文化教育は日本語で紹介している。「言葉の架け橋」（生越直樹、曹喜澈）は各課ごとに主要内容を理解し易くするために、スポーツ新聞、チマチョゴリ、切手、仏国寺、ブルゴギ、水キムチ、雪岳山、お盆、キムジャン、歳拝、世宗大王、李栗谷、李退溪などの写真を載せている。

「よくわかる韓国語」（入佐信宏、文賢珠）は1課から15課までとなっている。10個の韓国文化をコラムで紹介している。日本人がしばしば接することのできる韓国の独特な文化を説明している点が興味深い。「アルギシウン韓国語」（溝口甲順）は各部に歌を置き、学習を進めるようにしたのが特徴である。また、別途に文化的な要素を扱っているのではないが、初級レベルのため本文の内容中に文化語彙を挿入し、学習できるようにしている。「コミュニケーション韓国語会話編」（長谷川由紀子）は文化要素として、韓国の食べ物（石焼ビビンバ、トック、チヂミ、コチュジャン、キムチなべ、カクテギ、水キムチ、冷麺など）を絵で提示し、韓国人の名前と呼び方、韓国地図を通して各地の地名学習などがもられている。

これ以外に日本で作られた韓国語のテキストは多数あるが、文法、発音、語彙が中心であ

り、大部分は文化項目を扱っていない。初級レベルではさほど多くなくとも、韓国の代表的な文化項目を紹介する必要がある。そして、中級レベル以上の学習者達には日韓文化が比較できる韓国の特殊な文化を提示し、韓国語学習とのつながりも考慮できるようにするべきだろう。

油谷幸利、南相環 「総合韓国語1」	韓国の概要、韓国の地理、(コラム) オンドル、韓国の歴史、韓国の概観、ソウルと平壤、韓国の姓氏、食事の作法、名前の呼び方、合コン、祝日、公休日、節句の日、恩師の日、百日、初誕生日、呼びかけの言葉、日韓交流の進展、スキンシップの好きな韓国人、韓国の教育制度、大学入試制度と受験地獄
油谷幸利、南相環 「総合韓国語2」	ハングルの歴史、ハングルの日、NHKのハングル講座、出生率の低下、男子出産を望む社会、高齢化社会、離婚率の急増、「聞く歌」から「見る歌」へ、日本の大衆音楽、日本映画の上映、カフェ、クックと汁物、韓国の代表的食べ物のひとつキムチ、韓国人の好きな食べ物、ラーメンにまつわる話
生越直樹、曹喜澈 「言葉の架け橋」	ことわざ(「朝飯前」、「壁に耳あり障子に耳あり」の外30個)、語彙(料理の名前)、歌(「愛してる」、「先駆者」、「出会い」)、韓国と日本の発音表記の違い、朝鮮半島、紙幣と硬貨、人物の紹介、市内バス
入佐信宏、文賢珠 「よくわかる韓国語」	日本人の名前と韓国人の名前、金さん李さん朴さん、実のお兄さんそれとも?、一気、涼しい、部屋文化、年下でもお姉さん?、おかずは食べ放題!、ちょっと見ているだけですから、もう一杯お願いします。
溝口甲順 「アルギシウン韓国語」	歌(アリラン、兄を想って、たき火、ふるさとの春)、キムチ、ポッサムキムチ、ビビンバ、冷麺、焼肉、オンドル部屋、韓国の地名、百済、新羅、高句麗、高麗、朝鮮、金素月、尹東柱、黄順元
長谷川由紀子 「コミュニケーション韓国語」	韓国料理(石焼ビビンバ、トック、チヂミ、唐辛子みそ、キムチチゲ、カクテギ、水キムチ、冷麺など)、韓国人の名前と呼びかけ方、韓国の地図及び地名

これまで韓国語のテキストに現れた文化項目を分析し、まとめてみた。韓国で発刊された韓国語のテキストは大部分が大学の機関で編纂され、初、中、上級の段階に分けて体系的に文化項目を扱っている。その反面、日本で発刊された韓国語のテキストは個人が作成したものが一般的であり、初級レベルのテキストが主である。また、韓国で発刊されたテキストは韓国文化の一般的なものまでも扱っているが、日本で発刊されたテキストは日本の観点で韓国と日本の文化を比較し、韓国文化の特徴が理解できるようにしている傾向がある。一般的な韓国文化の項目も多数あるが、日本人の立場で感じた韓国の文化を紹介している点が大きい違いであるといえるだろう²。

² チョハンノク・カンスンヘ(2001)は、韓国語のテキストの文化項目に対する分析を行い、その意義を次の四つとした。第一に、最近出版された教材が文化教育に関心を持っている。第二に、各教材に含まれた文化教育の項目は主に伝統に基づいたものである。第三に、5つの機関の教材の内2-3カ所の機関が同時に設定した文化項目は韓国人の名前、呼び方、家族、食事マナー、トルと還暦、テッコンド、ソウルの地下鉄、主要電話番号等一部にすぎない。第四に、文化教育方法、学習者活動に対するガイドラインを提示していない。

3. 文化教育に対する学習者の要求調査分析

文化教育の内容選定と教育方法開発のために、学習者の要求を受け入れることはとても重要である。チョハンノク・カンスンヘ（2001）の学習者の要求調査によると、テキストに含まれるべき文化項目の質問に対し、回答者93人の内52人（56%）が‘現代日常生活文化’、27人（29%）が‘伝統文化’、残りの15%は‘歴史、経済、政治’等と答えた。これは文化項目の設定において、日常生活と関連がある項目を優先的に採択することを学習者は要求していると思われる。

カンスンヘ（2002）の在米韓国人学習者プログラムのテキストにおいて、扱われている文化項目は、日常表現を含む‘現代日常生活文化’、話す機能を除いた‘言語機能’、‘歴史関連内容’、‘文化（食べ物、芸術、伝統、テッコンド等）’、‘礼儀（慣習）’、‘文化間の差’、‘政治・経済・社会’などの順で現れている。テキストに含まれる文化的な内容も重要であるが、彼らが直接的にぶつかることになる現代生活文化が非常に必要である。韓国の伝統文化の側面については、‘韓国の伝統慣習’、‘ことわざ’、‘伝統芸術’、‘社会的階層に対する認識’、の順で調査の結果が出た。そして、現代日常生活の文化的な側面では、衣食住を始め現代の日常文化が一番高かった。ちなみに続いて、政治、社会制度、急速な産業化と韓国に及ぼした影響、教育、韓国の芸能等の順であった。

本稿は、新潟国際情報大学で2003年後期「韓国語特講1・3」を受講している日本人韓国語学習者40人を対象に、文化教育に対するアンケート調査を実施した。その結果には今までの韓国語文化教育に対する指針書³では見たことのない新しい事項がでており、注目される。

アンケート調査のための質問を、大きく次の四つに分けて設定した。

- ① 韓国と聞いてまず思い浮かぶ物、人、イメージ
- ② 韓国語を習う理由
- ③ 韓国文化と日本文化の一番違う点
- ④ 韓国文化に関心がある部分、または知りたい部分

³ チョハンノク（2002）に「初級課程学習者のための文化項目の選定と配列」が詳しく出ている。

韓国と聞いて 思い浮かぶ物	キムチ(13)、おいしい食べ物(7)－焼肉、にわたりのスープ(チムタク)、とても辛い、映画(3)JSA、赤い色(2)、サッカー(3)：アンジョンハン・チェヨンス、金大中、ノムヒョン(2)、ユンソナ(2)、ボア(2)－WAX/GOD/UN/神話、交通(3)：車が早い、軍隊(2)、現代・三星・LG、首都ソウル、寒い冬、ドラマ、結婚式、カラオケ、チマチョゴリ、飲酒：お酒をたくさん飲む、韓国の若者は日本人が好きだ、友好的だ、礼儀正しい、ソウルオリンピック、ヤンパン
韓国語を習う理由	興味と関心があるので(11)、近いので(7)、韓国語を習ったら文化と歴史もわかるから(4)、ワールドカップがあったため(3)、韓国に行きたいから(3)、韓国語で話したいから(3)、文法が日本語と似ているから(2)、ハングルに関心があるから(2)、韓国が好きだから(2)、いいサッカー選手がいるから、単位のため、中国語を習いたかったが多すぎたので、他の言語より簡単だと思って、友たちが韓国を好きなので
日韓文化の違い	敬語(8)：目上の人に尊敬語を使っている。軍隊(4)、儒教文化(3)、交通規則(2)、民俗儀式、生活方法、食事方法、食べ物文化、韓国の若い人は日本の若い人より丈夫だ、韓国の文化と日本の文化は似ている、日本には恨みがない、韓国の食べ物は辛くて日本の食べ物は甘い、バスでお年寄りに席を譲る、先輩をお姉さんかお兄さんと呼ぶ、韓服を着る
学びたい文化	映画(10)、歌(5)、韓国でのマナー(日本との相違点)(3)、食べ物文化(3)、韓国のファッション(2)、ドラマ、キムチの作り方、韓国の歴史、政治、宗教、韓国の大学生生活、韓国と日本の若者の相違、若者の文化、韓国の流行

文化項目を選定するにおいては、韓国の衣食住、伝統文化的な要素、公共施設と社会制度、思考方式等、韓国語の教育機関が公式的に指定した文化項目を教科課程に挿入し、扱わなければならないことは言うまでもない。しかし、現在の韓国の状況を理解し対話に参加させるためには、アンケート調査の結果でも見られる学習者たちの要求事項を文化教育として扱う必要がある。そのため、次のような文化項目を取り入れるべきだと思う。

第一に、韓国語を習う日本人学習者たちは韓国の大学文化について知りたがっている。したがって、韓国の入試問題、サークル、合コン、バイト、図書館、軍隊、流行ファッション、学校前の風景等を紹介するのも韓国の若者を理解するのに役に立つ。

第二に、日韓ワールドカップ開催以降サッカーについての関心や韓国語の学習に対する熱気が高まってきた。アンジョンハン・チェヨンス・ホンミョンボなどの韓国の有名なサッカー選手のファンが大勢いるほどである。これと関連して学生たちの関心分野のスポーツ、運動選手等を取り扱った文化項目を選定し、スポーツ関係の語彙と一緒に教えるのも良い方法になるだろう。

第三に、ボア・ユンソナ等の韓国人タレントが日本に進出したことは韓国の芸能について関心をよびおこした。韓国語を学習する学生たちが対話に参加するための気軽なテーマとして良い文化項目である。また、韓国のドラマ、歌謡、映画などに興味を持っている学習者が増えてきているので、このような文化内容は韓国の実状を反映した良い文化項目だといえる。

前に韓国の伝統文化、及び現代日常生活文化などを授業の現場で教えるべきであろうと強

調してきた。しかし、このように共通な文化要素以外にも日韓両国の文化が比較できる独特な韓国固有の文化項目、または学習者たちの要求事項を反映するべきである。この作業は学習者たちが必要とする学習意欲を満たすだけでなく、韓国文化の理解を通じて韓国語が使える点でも意味があると思う。

4. 韓国文化教育

(1) 文化項目選定

韓国と日本で出版された韓国語テキストの文化項目を分析し、韓国語学習者たちの要求調査を実施した。こうした結果を基礎にし、韓国文化教育の項目を提示しようと思う。特に学習対象が日本人の大学生なので、韓国と日本の文化を互いに比較できるよう、韓国のおもしろく、独特な文化項目を含めた。初級レベルでは韓国文化語彙を紹介しながら、韓国文化内容を扱うことにする。そのかわり韓国語を勉強し始めてより深く韓国文化に関心を持つようになる3-4年生の中級以上のレベルで、本稿で選定した文化教育の項目を教えるようにする。したがって、韓国の日常生活文化を提示したうえで、日本の文化と比較できる韓国文化項目を次のように選定した。

主要文化項目	拡張文化項目	学習者活動
地理	韓国の概要 ふるさと 韓国の主要都市 有名な観光地	日本と韓国の面積、人口、首都比較 自分のふるさと紹介 日本の特産品紹介 旅行計画 (チーム)
ショッピング	韓国の貨幣 韓国のショッピング場所 価格の交渉	日本の貨幣と比較 市場で買い物をする (チーム)
呼び方	韓国の姓と名前 家族の呼び方 食堂、お店での呼び方	韓国の友人の名前書く 呼び方語の目録作成 食堂で注文
大衆文化	有名な歌手の歌 ⁴ ミュージックビデオの感想 韓国の映画 ⁵ 、ドラマ	誕生日の歌 映画、ドラマの主人公ロールプレー (チーム)

4 ユサンヒ (1998)、歌でおぼえる韓国語

5 映画で韓国語が学べる本として「映画でハングル (2002)」南雲堂フェニクスがある。この本では、グリーンフィッシュ (1997)・接続 (1997)・8月のクリスマス (1998)・美術館の動物園 (1998)・純愛譜 (2000)・イルマレー (2000)・エンジェルズノー (2000)・シュリ (1998)・JSA (2000)・リベラメ (2000)・ホワイトバッジ (1992)・ユリョン (1999)・ボン (1985)・トウーカップス (1994)・301 302 (1995)・反則王 (2000)・われらの歪んだ英雄 (1992)・太白山脈 (1994)・ペパーミントキャンディー (1999)・風の丘を越えて (1993)・春香伝 (2000)・鯨とり (1984)・デュープブルーナイト (1996)・神様こんにちは (1998)・チルスとマンズ (1999)・友へ (2001) 等、30編の映画を紹介した。映画の内容で、面白い会話表現が役に立つ表現が学習できるようにになっている。特に「韓国なんでもコーナー」があって韓国の習慣とか文化の知識が得られる。

節句と休日	お正月とお盆 陰暦と陽暦 休日 伝統民俗遊び	日本の祝祭日と比較 韓国と日本のカレンダー比較 祝祭日の比較 ユンノリ (チーム)
食べ物	食べ物の種類 料理の作り方 お酒(つぎ方と一気) 韓国のお膳	食べ物作りの作文発表 日本の代表的な食べ物と比較 韓国のお膳を作って紹介 (チーム)
文学作品	檀君神話 伝来童話 (韓国の民話)	檀君神話の要約を話す
家	オンドル 引越し レンガ住宅とアパート 韓国のチョンセ文化	オンドルとたたみの比較 引越しのプレゼントと意味 日韓住宅の比較
大学文化	大学生活 軍隊制度 (徴兵制)	韓国の大学生活と比較 軍隊ビデオの感想
日韓ワールドカップ	サッカー選手 「赤い悪魔」と応援歌	サッカー選手の写真と名前合わせ 応援歌/ユンドヒョンのアリラン (伝統アリラン)
礼儀	儒教思想 恩師の日/ヤンバン (両班) 手紙、電話のマナー 飲酒・食事のマナー	安東河回村紹介、お年寄りに席を譲る 日本の食事マナーと比較 電話の会話/手紙作文 食堂でお金を払う (チーム)
儀式	トルバーティ 結婚式	トル取りと七五三 結婚式の野外撮影写真の感想
交通	一般の交通手段	地下鉄で路線を探すゲーム (チーム)
言葉の表現	ことわざ/流行語 方言/慣用句 ぞんざい語と尊敬語 動物の鳴き声	日本語表現と比較 ことわざ、慣用句作文 ぞんざい語と尊敬語のロールプレア (チーム) 動物の鳴き声童謡
衣服	韓服/制服	韓服を着る
経済	現代グループ	韓国の企業ロゴ合わせゲーム (チーム)
歴史	韓国の歴史	日本史と比較したグラフを作る
政治	大統領および政党の種類	歴代大統領の氏名
文化財	ユネスコ指定文化財	関連資料の感想

(2) 文化教育授業

ここでは、新潟国際情報大学3、4年生を対象に実施した「韓国語特講1・3」の韓国語文化授業の例を提示しようと思う。教育期間は2003年9月22日から15週間で、1週間に1コマずつ韓国文化と韓国語を教えた。多様な韓国文化を理解させ、文法・語彙などの韓国語を学ばせる学習目標と文化項目は次の通りである。

	韓国語特講1	韓国語特講3
学習目標	韓国の代表的な文化を紹介し、韓国語学習に対する興味を持ってもらう。 韓国文化を理解し、韓日文化を比較することができるようにする。 主題文の語彙・文法を学習し、関連した書き取り・話し方・討論・発表ができるようにする。	
1週	授業紹介、挨拶の表現、自己紹介	挨拶の表現、自己紹介
2週	故郷の紹介	韓国の貨幣
3週	韓国の地理	韓国の食べ物1 (メニュー注文)
4週	檀君神話	韓国の食べ物2 (作る)
5週	トルチャンチ	韓国観光
6週	キムチ	天気
7週	韓国の歌謡 (キムゴンモ「こめんなさい」)	韓国の歌謡 (ビョンジンソプ「希望事項」)
8週	ハングル検定試験問題	ハングル検定試験問題
9週	慣用語	結婚式
10週	祝祭日 (お正月、お盆)	韓国の祝祭日
11週	電話	ことわざ
12週	映画	映画
13週	ユンノリ	パンマル (ぞんざい語) とノッピンマル (尊敬語)
14週	伝来童話 (韓国の民話)	伝来童話 (韓国の民話)
15週	期末試験	期末試験

次は新潟国際情報大学3年生の「韓国語特講1」と4年生の「韓国語特講3」で実施した授業の実例である。授業の進行は、「導入・展開・練習・応用・まとめ」の5段階で行われた。

● 1回目「韓国語特講1」の授業：故郷紹介の内容

日付け	2003年 10月 3日 (金) 2限
学習主題	故郷の紹介
学習目標	自分の故郷の紹介ができる。
学習内容	文化項目：慶州、新羅時代、仏国寺、石窟庵、多宝塔、釈迦塔、吐含山 文法項目：-본 적이 있다. -게 좋다, ㄹ (意思) 語彙項目：-유명하다, 무덤, 절, 새벽, 해돋이 発音：해돋이 (구개음화)
学習準備物	日本の地図、韓国の地図
授業の順番	導入 挨拶 学生の故郷を簡単に質問する。
	展開 教師の故郷を学生に紹介する。 本文を読む/新しい単語、内容質問、解釈 仏国寺・石窟庵・多宝塔・釈迦塔
	練習 二人ずつ故郷について話す練習
	応用 自分の故郷について発表。 友だちの故郷について質問。
	まとめ 内容確認とまとめ
宿題	対話日記帳、韓国の都市の名前10個を調べてくること。

● 2回目「韓国語特講1」の授業

日付け	2003年 10月 10日 (金) 2限
学習主題	韓国の地理
学習目標	韓国の主要都市及び地理がわかる。
学習内容	文化項目：8道、ソウル特別市、広域市(6), 文法項目：－으로 유명하다 語彙項目：都市の名前、山の名前 発音：한려해상 속리산 북한산 한라산(자음동화)
学習準備物	日本の地図、韓国の地図、プリント
授業の順番	導入 復習：慶州は何がありますか。吐含山に行く去何が見られますか。故郷はどこですか。何で有名ですか。韓国の地図提示
	展開 韓国の地図を見ながら主要都市の説明 ソウル特別市・京畿道・江原道・忠清南北道・全羅南北道・慶尚南北道(8道) 広域市(仁川/光州/大田/大丘/釜山/蔚山)
	練習 プリント：韓国の有名な物を聞いて書く。 全州ビビンバ・大丘りんご・安東河回タル・春川そば・済州島の漢拿山・仁川の国際空港・江原道雪岳山
	応用 韓国の国立公園の位置を探す。(地図でチェック)
	まとめ 内容まとめ
宿題	韓国の主要都市を描く 自分の故郷及び日本の有名な場所を紹介 3課檀君神話の単語予習

● 1回目の「韓国語特講3」の授業

日付け	2003年 10月 31日 (金) 3限
学習主題	韓国の観光
学習目標	韓国の観光名所を理解し、旅行の計画を立てて発表する。
学習内容	文化項目：이천 도자기, 지리산, 청학동, 한복, 상투, 속초, 가을동화 文法項目：間接引用文 -라는/-라고 語彙項目：청자 백자 명당터 아바이마을 고향 실향민 촬영지 현수막 発音：탈린트(外来語発音) 직접 청학동 바닷가(된소리)
学習準備物	観光案内冊子
授業の順番	導入 宿題確認：料理の作り方を発表3チーム(6人)
	展開 質問：韓国に旅行したことがありますか。どこを知っていますかなど。 観光単語、及び本文の内容解釈(担当学生3人発表) 1) 利川陶磁器(発表者：A) 2) 青鶴洞町(発表者：B) 3) アバイ町(発表者：C)
	練習 どんな所が旅行したいですか。 1) 利川：陶磁器と米が有名 2) 青鶴洞町：昔の学校(書堂) 3) アバイ町：アバイ(お父さん、失郷民の町)、「秋の童話」の撮影場所 内容を読む、説明
	応用 観光計画書作成 1) 慶州観光(4名) 2) 利川陶磁器祭り(4) 3) 全羅南道観光(4名) 4) 智里山観光(4名) 5) 釜山観光(5名)
	まとめ 内容のまとめと確認

宿題

5つのチームごとに旅行計画書をまとめ、次の時間に発表。(発表の形：一人でもいいし、チーム全員がしてもいい)

3年生の「韓国語特講1」の授業では、韓国語の文章で日本の自分たちの故郷を紹介・発表し、日本の地図を描いて韓国と日本の地理的な要素などを理解させる授業だった。また、慶州の文化紹介では仏国寺の多宝塔と釈迦塔の写真を見せながら、それぞれの特徴を説明した。2回目の授業では、韓国の地理教育として韓国の地図を見て、都市ごとに有名なものを話し、書く練習をした。1回目の授業で学習した故郷の紹介と韓国の地理を組み合わせ、日本の自分たちの故郷と日本で有名な特産品を紹介する宿題を与えた。

4年生の「韓国語特講3」の授業では、韓国の有名な観光地を紹介し、4人ずつ5つのチームに分けて旅行計画を立てる宿題を与えた。韓国の有名な観光地5箇所を設定し、利川陶磁器祭、智里山観光、慶州観光、全羅南道観光、釜山観光などの案内冊子を配布した。学生たちのレポートをコピーして他の学生たちにも配り、自分たちが準備してきた内容を発表した。一人が代表として発表するチームがあったり、それぞれ分担し調査してきた内容をチームの全員が発表する形もあった。これらの授業方法は単に文字を読んで終わらせるのではなく、韓国語を理解し実際に使えるよう練習したり、発表したところが有益であった。

おわりに

これまで韓国語教育における文化教育の先行研究を考察し、韓国語テキストにおける文化項目を分析し、学習者要求事項を調査してみた。これを基礎に、日本の大学生の中級レベルに合わせる韓国語教育のための文化項目を選定し、授業現場で適用してみた。

伝統的な文化項目、日常生活文化項目、韓国人の思考方式など観念的な文化項目を伝えるとともに、日本人の学習者が要求する新しい文化項目を含むよう提案した。日韓ワールドカップを主題とした文化項目、韓国の大衆文化項目等を教育現場で扱うことができるよう試みた。また、韓国の文化をより深く理解できるよう日韓両国の文化を比較し、作文や発表する宿題を与え、実際の状況でも十分使えるよう練習してみた。

しかし、韓国文化を通じた韓国語学習ができる文化テキストはまだ不十分であり、多様な文化の教授法も開発されていない。これらは今後の課題であり、より一層の活発な研究が望

まれる。

＜参考文献＞

- 1) カンスンヘ (2002)、在米アメリカ人成人学習者文化プログラム開発のための要求調査分析研究、韓国語教育12-1、国際韓国語教育学会
- 2) カンヒョンハ (2002)、韓国語の文化語彙選定と技術に対する研究、21世紀韓国語教育学の現況と課題、韓国文化社
- 3) キムヨンア (2002)、韓国語教育と文化：多文化理解の窓、21世紀韓国語教育学の現況と課題、韓国文化社
- 4) パクヨンスン (2001)、韓国語教育のための韓国文化論、韓国文化社
- 5) パヒョンスク (2002)、韓国語教育における文化教育学の現況と問題点、二重言語学21号、二重言語学会
- 6) ソンギチョル (2001)、韓国語教育と文化教育、韓国語教育12-2、国際韓国語教育学会
- 7) ウリ語文学会、外国人のための韓国語教育、国学資料院
- 8) ユニョタク (2002)、韓国語文化教授学習論、21世紀韓国語教育学の現況と課題、韓国文化社
- 9) イソクジュ (2002)、韓国語文化の内容別・段階別の目録作成試稿、二重言語学21号、二重言語学会
- 10) イソンイ (2003)、文学を活用した韓国文化教育方法、韓国語教育14-1、国際韓国語教育学会
- 11) チョハンノク (2000)、初級レベルの韓国語教育と文化教育、韓国語教育11-1 (2)、国際韓国語教育学会
- 12) チョハンノク・カンスンヘ (2001)、初級レベルの韓国語学習者のための文化教授要目開発 (1)、韓国語教育12-2、国際韓国語教育学会
- 13) チョハンノク (2002)、韓国語の文化教育論の主要争点と課題、21世紀韓国語教育学の現況と課題、韓国文化社
- 14) 長谷川由紀子・イスギョン (2002)、日韓韓国語テキストの文法シラバス比較分析、韓国語教育13-2、国際韓国語教育学会

- 15) ハンサンミ (1999)、韓国語教育における言語と文化の統合的な教育法案、韓国語教育10-2、国際韓国語教育学会
- 16) キムジョンスク (1997)、韓国語熟達培養のための韓国文化教育の方案、教育ハングル第10号、ハングル学会
- 17) ウハンニョン (2000)、外国人のための韓国語教育における文学の活用、外国人のための韓国語教育研究3
- 18) キムジヒョン (2001)、詩を活用した韓国語教育の実際、韓国語教育12-2、国際韓国語教育学会
- 19) イソンヒ (2003)、説話を通した韓国語文化教育方案、韓国語教育10-2、国際韓国語教育学会
- 20) ナヘミン・ウイネ (2001)、中級教材中の文化教育方案、国際韓国語教育学会11回発表論文集
- 21) イソクジュ (2002)、韓国語文化の内容別・段階別目録作成、二重言語学会21号

<参考テキスト>

<日本>

- 1) 油谷幸利、南相璽 (2001)、総合韓国語1・2、白帝社
- 2) 生越直樹、曹喜澈 (2000)、言葉の架け橋、白帝社
- 3) 入佐信宏 文賢珠 (2002)、よくわかる韓国語、白帝社
- 4) 溝口甲順 (2002)、アルギシウン韓国語、白帝社
- 5) 長谷川由紀子 (2001)、コミュニケーション韓国語会話編1、白帝社

<韓国>

- 1) 梨花女子大学言語教育院 (1999)、話ができる韓国語1・2、梨花女子大学出版部
- 2) 梨花女子大学言語教育院 (2000)、話ができる韓国語3、梨花女子大学出版部
- 3) 鮮文大学韓国語教育院 (2000)、韓国語初級1・2、ベクソン
- 4) 鮮文大学韓国語教育院 (2001)、韓国語中級・上級1・2、ベクソン
- 5) 西江大学韓国学センター (2000)、西江韓国語1・2、ハウ
- 6) 慶熙大学国際教育院韓国語教育部 (2000)、韓国語初級1、慶熙大学出版局

- 7) 慶熙大学国際教育院韓国語教育部 (2001)、韓国語初級2、慶熙大学出版局
- 8) 慶熙大学国際教育院韓国語教育部 (2002)、韓国語中級1・2、慶熙大学出版局
- 9) 高麗大学韓国語文化研修部編 (1994)、韓国語4・6、高麗大学民族文化研究所
- 10) 高麗大学韓国語文化研修部編 (1995)、韓国語1・2・3・5、高麗大学民族文化研究所